

提出順	/	発言順	3	令和 5 年 11 月 24 日
				午前 (午後) / 時 7 分受領

(5 枚中No.1)

令和 5 年 11 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

会 派 名

会派 さきがけ

安曇野市議会議員

中 村 芳 朗

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 25 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針等について (安全安心なまちづくり (地区要望) について)		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

安全安心なまちづくり (地区要望) について

市では、市内各区より年度初めに道路の修繕 (危険箇所)、改良などの地区要望を取りまとめています。

要望された箇所は、多いと聞いていますがその状況について、5 地域ごとの要望箇所数とその内、実施した箇所数及び率を過去 2 年について都市建設部長にお伺いします。

各区では、現地調査を行い、区として必要な要望をあげていますが、中々実施していただけないとの声を聴きます。実施できていない理由・要因を都市建設部長にお伺いします。

市長は、スローガンに「住みたい安曇野 住んでよかった安曇野」を掲げています。

各区から要望のあった箇所は、各地区として安全で住みよい地域にしてほしいとの要望です。

私もスローガンに「住んでよかった安曇野 住み続けたい安曇野」を掲げていますので、一般質問で何度か昭和 50 年代頃から整備された道路水路の老朽化、危険箇所の点検整備をお願いしてきています。

予算が不足をしているように思われますので、来年度予算の増額を、また、人的な補強をして取り組んでいただけないでしょうか、市長にお伺いします。

提出順	/	発言順	3	令和 5 年 11 月 24 日
				午前・午後 / 時 7 分受領

(5 枚中No. 2)

令和 5 年 11 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

会 派 名 会派 さきがけ

安曇野市議会議員 中 村 芳 朗

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針について (区等自治会の地域活動デジタル化について)		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

区等自治会の地域活動デジタル化について

総務省では、地域コミュニティの基盤となる自治会において、役員の担い手不足や高齢化等の解消、役員
の負担軽減、自治会等への加入率の低下など、地域の繋がり希薄化への危機感に対し、地域活動を活性化
し効果を高める手段として、デジタル技術の活用が推進されています。

総務省の「自治会における地域活動のデジタル化実証事業」として、全国10市町(北海道美深町・千葉
県千葉市・流山市・静岡県小山町・愛知県名古屋市・大阪府河内長野市・岡山県岡山市・福岡県筑後市・
長崎県長崎市・沖縄県浦添市)において電子回覧板や災害時の情報共有など地域の繋がりを生む、地域活動
共有ツールとして、事業受託した事業者の専用SNSアプリ「いちのいち」を今年 から利用開始していま
す。

この実証試験に参加している、岡山市では、地域活動のデジタル化を進める取り組みの一環として、町内
会専用SNSの実証試験を始めました。回覧板の配布など町内会の業務の負担を軽減し、担い手不足の解消
につなげる狙いで今年度末まで実施しています。実験では、専用SNSアプリ「いちのいち」を活用し、ア
プリをインストールし、個人情報登録すれば、回覧板の閲覧や災害時の安否確認がオンラインでできる。
市内の五つの町内会で実施。対象の3割が利用することを目指しています。市の担当者は、「デジタル化を
通じて、若い人にも町内会活動に参加してもらえるようになれば」と話しています。

提出順	/	発言順	3	令和 5 年 11 月 24 日
				午前・ 午後 / 時 7 分受領

(5 枚中No. 3)

令和 5 年 11 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

会 派 名 会派 さきがけ

安曇野市議会議員 **中 村 芳 朗**

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針について (区等自治会の地域活動デジタル化について)		

また、この実証試験に参加していない、福島県郡山市では、電子回覧板などの機能を持つ、他のアプリを活用して、市内12町会で試験導入している。持続可能な町内会活動を見据え、デジタル技術の活用により町内会活動の効率化や活性化を図るため、スマートフォンで使用できる連絡ツールアプリケーションをモデル町内会や郡山市自治会連合会に導入し、その効果や課題を検証しています。アプリケーションでできることとして、町内会の情報発信（回覧板の電子化）・地域行事や会議などの出欠・協議事項の賛否確認（電子表決）・市からの情報（ふれあいネットワーク情報）の受信・災害時の安否確認を町内会DX推進事業として令和4年度に行っています。

このような、区等自治会の地域活動デジタル化について、全国各市町村で実証試験が行われています。

自治会活動のデジタル化は、これからの区の負担軽減に繋がると思いますが、実証試験からでも取り組むお考えは、ないでしょうか、担当部長にお伺いします。

なお、地域活動のデジタル化について、市長のお考えを最初にお伺いします。

提出順	/	発言順	3	令和 5 年 11 月 24 日
				午前・ 午後 / 時 7 分受領

(5 枚中 No. 4)

令和 5 年 11 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

会 派 名 会派 さきがけ

安曇野市議会議員 中 村 芳 朗

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針について (中学校部活動の地域移行について)		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

中学校部活動の地域移行について

文部科学省は、2020年9月の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」で、2023年度から公立中学校での休日の部活動の地域移行をスタートすることを発表しました。

2022年12月には、スポーツ庁と文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が発表され、そのなかで2023～2025年度の3年間を改革推進期間とすると定めています。この部活動の地域移行が行われる主な目的は、顧問を務める教職員の負担軽減と少子化の影響等で中学校の生徒数が減少し、部員数が減少した部活動を継続させることです。

特に野球やサッカーなどチームスポーツでは、影響が大きく今後の課題となっていました。

学校と地域、社会体育との連携は、生徒の新たな可能性を見つけ伸ばしてやれる機会にもなり、学校と地域が一体となって次世代を担う人材を育てていく事であり、私は大いに賛成であります。

しかし、一方で部活動を地域移行することで、指導者の確保、会費等の負担、施設利用等の問題があります。費用は、保護者が負担しなければならなくなり、活動が遠方で行われると送迎が必要となることがあります。学校の部活動では必要のなかった送迎費用が発生します。

9月16日の信濃毎日新聞の記事によりますと、今年、6月～7月、県内の小中学校・特別支援学校に県教育委員会が行ったアンケートでは、「地域移行した場合に保護者が不安なこと」として、「活動場所まで

提出順	/	発言順	3	令和 5 年 11 月 24 日
				午前・ 午後 / 時 7 分受領

(5 枚中 No. 5)

令和 5 年 11 月 24 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

会 派 名

会派 さきがけ

安曇野市議会議員

中 村 芳 朗

代表質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	市長の施政方針について (中学校部活動の地域移行について)		

の移動方法がない」が49%で最多。「会費や道具代などの費用が増える」が43%で続き「希望する活動ができない」は、29%、「練習や大会などでの補助、運営などを強いられる」27%でした。

また、「地域移行に期待すること」を小中学生に聞いたところ、「学校部活動と同じ活動ができる」が35%とのことでした。

部活動の地域移行を実現するためには、相当な準備が必要ですし、学校・行政・保護者を交えての理解が必要であります。この調整をどこの部署・団体が主導していくのでしょうか。

市では、学校教育部局で行うのかスポーツ担当部局で行うのか、また、学校側になるのか社会体育団体で行うのか、その推進体制についてと、文部科学省では、2025年度までに段階的な改革推進期間としていますが、安曇野市において学校側も含めて、現在の取り組み状況と今後のスケジュール等について教育部長

にお伺いします。

なお、最初に教育長の中学校部活動の地域移行のお考えをお伺いします